

## 令和6年度 第1回 富塚西小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時： 令和6年5月17日（金） 13時30分から16時00分まで  
（13時30分から13時45分まで授業参観）
- 2 開催場所： 富塚西小学校 会議室
- 3 出席委員： 安間忠雄、鈴木和明、吉澤 肇、池谷守司、北山 豊、樽林里奈、岩渕千江、  
吉川恵美
- 4 欠席委員： 神村浩子
- 5 オブザーバー： 浜松市議会議員 関イチロー、富塚協働センター 今枝 平
- 6 学 校： 稲田晴彦（校長）、鈴木千晴（教頭）、阿部恭大（教務主任）、  
坂口千佳（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者： なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 坂口千佳
- 9 会長の選出及び副会長の指名  
司会の吉川委員から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、岩渕委員から安間委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承諾した。また、その後、会長に選任された安間委員から、北山委員を副会長に指名する旨の報告があった。
- 10 議長の選出  
司会から、議長の選出について委員に意見をもとめたところ、岩渕委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 11 浜松市学校運営協議会規則確認  
教頭より、浜松市学校運営協議会規則の下記4項目について説明があり、委員全員で確認を行った。  
第3条 学校運営協議会の目的  
第8条 対象学校の運営状況について評価を行うこと  
協議会の取組について自らの評価を行うこと  
第12条 守秘義務があり、職務上知り得た秘密を漏らしてはならないこと  
第15条 協議会は公開とし、傍聴も可能であること
- 12 協議事項
  - (1) 令和6年度富塚西小学校運営基本方針について
  - (2) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
  - (3) 富塚西小学校いじめ防止等基本方針について
- 13 会議記録  
司会から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和6年度富塚西小学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・若い先生方が志を持って働けるよう、ベテランの先生方が指導を行っているのか。(安間委員)  
→先輩の教師が指導を行うこともあるが、新人教師の話を聞き、自分の若手時代を思い出すことがあり刺激になる。お互いに会話をしてコミュニケーションをとることが大切だと感じる。(稲田校長)
- ・小さい子は、周りの影響でなんでも口に入れたりするが、食育で困ったことはないか。(北山委員)  
→給食では、色々な食材を食べて欲しいので、栄養を考え、様々な旬の物、地産の物を使って献立されており、給食で食育を行っている。子供たちにとっては初めて食べる食材もあり、食べ方が分からないという事もある。自分の経験から特に多いのは、魚の骨の取り方が分からない事。その場合には、子供の目の前で骨を取って見せて教えるようにした。(稲田校長)
- ・協働センターの「佐鳴湖ゴミ0フェスタ」というイベントに参加した。参加した子供達は、佐鳴湖に沢山のゴミが投げ捨てられていること、色々な外来種の魚が繁殖していること等、地域の課題を知る機会になった。学校でも地域のこのような体験を取り入れていけば、学校支援から協働になっていくのではないか。(吉澤委員)
- ・グラインドデザインを見ると、教育内容が昔とかなり変わっていることが分かる。ウェルビーイング、キャリアパスポート、SC、SSWなど、昔はなかった学校の専門用語の説明を記載していただくと分かりやすい。(池谷委員)
- ・子供が通っている幼稚園で月1回の食育がある。ゴーヤやとうもろこしを実際に育てて収穫し、食している。このような授業を小学校でもできないか。(榎林委員)  
→2年生は、生活の授業で夏野菜を育てている。また、発達支援学級では、生活単元学習で地域の野菜博士の米澤先生に教えていただき、さつまいもや大根を育てる授業がある。他学年では、学習指導要領の中で授業を行っている為、時間を作るのが難しい。(鈴木教頭)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 富塚西小学校いじめ防止等基本方針について

議長の指示により、阿部教務主任から、別紙資料に基づき富塚西小学校いじめ防止等基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・学校側がいじめの体制をしっかりと整えていることを、もっと保護者に周知してもらえると安心できると思う。また、実際にいじめがあり、担任の先生に話しにくい場合には、次に誰に話せば良いのか。(吉川委員)  
→担任以外の教師も色々な教科でクラスに入り教えている。その先生方でも保健の先生でも、子供や保護者が話しやすい先生に相談してもらえたらと思う。できる限り把握したいので、小さな

情報でも報告いただけるとありがたい。多くあるのは、加害者は軽い気持ちでからかったりふざけたりしたが、被害者にとっては、とても嫌な思いをしていたというケース。被害者が勇気をもって声をあげてくれることで、被害者を守ることができると共に、加害者に気付かせてあげることもできる。小さな事でも拾って、1つ1つ丁寧に確認し、重大化させることなく解決していきたい。(稲田校長)

・いじめのような事を見かけたり聞いたりしても、確信を持てない場合、学校に知らせるのを躊躇してしまう。何か簡単に匿名で学校に伝える仕組みがあれば、色々な声を拾えるのではないか。(北山委員)

→月1回の心のアンケートで、子供たちが、自分がいじめられたことや、友達がいじめていた、いじめられていた事を気軽に書けるようになることが一番近道だと感じる。(岩渕委員)

→前校では、いじめのアンケートを家庭に持ち帰った。それにより家庭でも保護者と子供が一緒にいじめの話をする機会になった。よりよいアンケートの方法を考えていきたい。(稲田校長)

→昨年度のアンケートでは、長い文章を書いていると他の子供たちに何かあると分かってしまうので、「先生に伝えたいことがある?」「ない?」のどちらかに○をする方式にし、「ある」と答えた子には個別に話を聞いた。この方法でいくつがいじめを把握することができた。(鈴木教頭)

→保護者も自分の子供に限らず、気になっている事や、いじめの噂を聞く事もあるかもしれないので、保護者用のいじめのアンケートもあると良い。(北山委員)

→マイナスな報告ばかりではなく、良い事をしたことを伝えるアンケートもあると良い。たくさん良い事をした子供を表彰するのも良いのでは。運動や音楽で活躍できない子でも、親切的優しい子として表彰されれば自信がつくと思う。(安間委員)

### 13 報告

学校支援コーディネーターの岩渕委員から、ボランティア活動の報告があった。

次に阿部教務主任より、別紙資料に基づき令和5年度のコミスクの取り組みの説明があった。

### 14 連絡事項

#### (1)今後の予定

教頭から、今年度の学校運営協議会の日程及び会議内容は、下記の表のとおり予定している旨の報告があった。

| 回   | 日時 (場所:富塚西小1階 会議室)       | 内容(案)                   |
|-----|--------------------------|-------------------------|
| 第2回 | 令和6年 9月20日(金)13:30~15:30 | 「学校支援」からグランドデザインの実現     |
| 第3回 | 令和6年11月29日(金)13:30~15:30 | キャリア「とみつか」の取り組み         |
| 第4回 | 令和7年 2月 7日(金)13:30~15:30 | 学校関係者評価<br>学校運営協議会の自己評価 |

#### (2)次回以降の議長について

教頭から、年間を通して安間会長に議長をお願いしたい旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。